

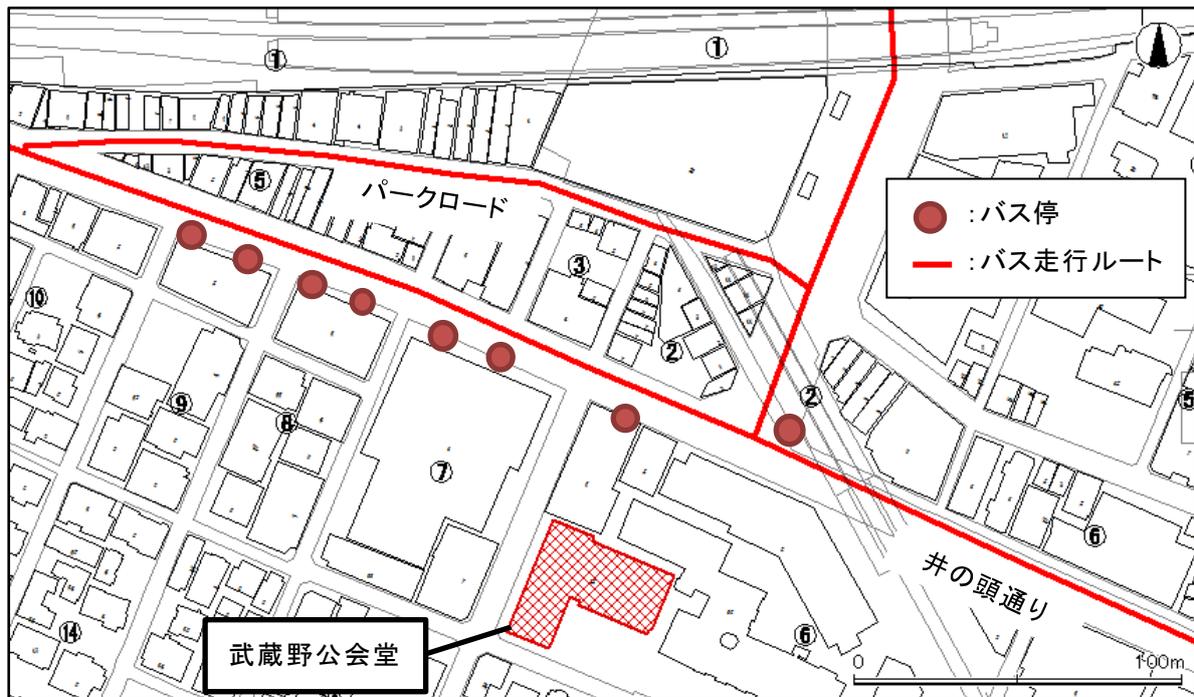
吉祥寺駅南口の再開発について

1 吉祥寺駅南口（パークエリア）の現状と課題について

吉祥寺駅南口には多くの路線バスが乗り入れているが、駅前広場が整備されておらず、幹線道路沿いのバス停による交通渋滞の発生や、パークロード通行時の歩行者の安全確保などの課題を抱えている。

また、エリア内にある武蔵野公会堂については、築後 50 年が経過して老朽化が進んでおり、バリアフリー対策も必要となっていることから、建替えを含め、将来展望と公会堂用地の利活用もあわせて検討する必要がある。

平成 26 年度には JR 吉祥寺駅改良事業及び京王吉祥寺駅ビル建替え事業が完了し、南北自由通路も開通した。パークエリアにおいても、井の頭恩賜公園と一体化したエリアの魅力を向上するため、交通体系や公共施設の再編など、エリア全体の課題解決を視野に入れた面的な整備の可能性を検討する。



2 長期計画及び調整計画における記載について

第四期長期計画（H17～26 年度）

(5) パーク吉祥寺（南口地区）

南口駅前交通広場の整備。パークロードの歩行者の安全性・快適性の向上。吉祥寺駅南口周辺再整備構想の策定。井の頭公園へのアクセス環境の向上。

(6) 吉祥寺駅周辺の交通対策

吉祥寺駅周辺地域では、通過車両と来訪車両の通行が分離しにくい道路体系になっているなどの問題がある。そのため交通の流れをスムーズにする工夫が必要であり、違法駐車防止指導のほか、携帯電話等による駐車場の案内・誘導や、商店街の荷捌き車両対策などを実施していく。

第四期長期計画・調整計画（H20～24 年度）

吉祥寺駅南口は、井の頭公園と一体となった魅力作りが期待されている。その導入部としての南口駅前交通広場の整備には、バスの利便性向上や、駅に隣接するパークロードの歩行者優先化、井の頭通りの交通渋滞緩和などの役割が課せられており、着実な用地取得交渉により駅前広場の早期完成を目指す。

また広場整備を契機に、関係権利者や社会の動向を見定めながら、南口全体の将来像となる「吉祥寺駅南口就園再整備構想」の検討を進める。

駅から井の頭公園への魅力的なポイントの集まるアクセス道路である七井橋通りについては、より快適な道路空間づくりを目指して、整備を行う。

第五期長期計画（H24～33 年度）

①交通環境の整備：駅南口ではパークロードを路線バスが通行する危険な状態が続いており、南口駅前広場の整備とともに、その改善を急ぐ必要がある。

②土地利用：駅周辺の公共施設については、吉祥寺地区に散在する市有地を有効活用し、長期的な視点で適正な配置について検討を進める。特に、武蔵野公会堂は築 50 年になろうとしており、施設の老朽化が進んでいる。商業エリアと井の頭公園の間の動線上に位置しており、同地の利活用はまちづくりのうえでも大きな要素となる。これらのことを念頭に、公会堂敷地の利活用について検討を進める。

第五期長期計画・調整計画 討議要綱（平成 27 年 1 月）

築後 50 年が経過し老朽化している武蔵野公会堂については、立地特性や環境資源である井の頭公園を活かした整備を検討する。南口駅前広場については、広場の完成に向けた取り組みを推進するとともに、駅周辺の交通体系の検討を行う。

3 討議要綱の意見交換会等における意見について

主な意見	回答（対応方針）
長年計画段階で止まっている交通広場は先の見通しがあるのか。南口駅前を①駅前②公会堂③パークロードに分け、段階的に計画を進めることはできないのか。	
公会堂は南口再開発とあわせて考えるよりも、個別に進めほうが分かりやすいのではないか。	公会堂のみの建て替えでは、抱えている課題を全体的に解決できない。できるならば、市有地を活用して交通問題を解決したいと思っている。公会堂の用地の転用や他の開発、民間事業の開発も併せて検討することで、全体の問題が解決できるような方策を一番に考えている。
公会堂にどのような機能を持たせるのか、考え方を具体的に書き込んでほしい。その議論を策定委員会でやってほしい。	調整計画で具体的に書き込むのは難しい。水面下で慎重に複数のプロジェクトを比較しつつ、オープンな議論ができるようにやっていきたい。策定委員会でも議論したい。

4 市の方向性

<平成 26 年第 2 回定例会（6 月 11 日本会議）より>

議員：南口駅前広場整備事業の進捗と完成への見通しについて伺う。

市長：安全な歩行環境の整備、駅周辺の交通環境の改善、回遊性の向上など、喫緊に解決すべき課題だと認識している。事業の進捗率は約 60%だが、早期完成を目指し、事業認可も視野に入れて用地買収の折衝を粘り強く進めている。なお、駅周辺の交通広場は南口だけでは機能が不十分だと認識しているので、吉祥寺大通り部分を含めた南北駅前広場全体で計画を充実していきたいと考えている。

議員：公会堂の今後のあり方について、市の方針を伺う。

市長：全市的なホール機能のあり方のほか、吉祥寺駅周辺を面として捉えたときに土地をどのように活かせるのか、その利活用も視野に入れ、市やまちの課題を解決していくためにどのようなことが考えられるか、大きな視点を加えた議論も必要と考えている。平成 26 年度事業として、公会堂等の利活用も含めたパーク吉祥寺エリアの事業展開に向けた調査検討を行う予定である。

<平成 26 年第 4 回定例会（12 月 3 日本会議）より>

議員：吉祥寺グランドデザインの実現に向けた取り組みの現状と総括は。

市長：継続的な事業としては、大きくは南口駅前広場である。用地買収率としては 40.6%、事業全体の進捗率としては 60.8%、まだまだ進めなければいけないと考えている。また、駅周辺の交通体系の見直しについても、バス事業者、警察との協議を継続中である。総合的な課題解決を目指していきたい。パークエリアについては、公会堂の建てかえも含めて、将来展望と公会堂用地の利活用もあわせて検討している。